

令和2年度保護者アンケートおよび児童・生徒アンケートの結果について(概要)

令和3年9月22日
文教委員会資料
指 導 課

【目的】

品川区における教育施策の成果を検証し、より一層の充実を図る。

【対象者】

(保護者アンケート)

区立学校に通う全児童・生徒の保護者

(児童・生徒アンケート)

区立学校に通う2年生以上の全児童・生徒

【調査内容】

(保護者アンケート)

〔A〕 家庭における教育方針とお子さんの生活・学習について

〔B〕 学校と地域との連携・協働について

〔C〕 ICT教育について

〔D〕 品川区の教育施策について

(児童・生徒アンケート)

〔A〕 学校や家での様子について

〔B〕 英語の学習について

〔C〕 オリンピック・パラリンピックについて

〔D〕 コンピュータやタブレットなどの活用について

〔D〕 コンピュータやタブレットなどの活用について

【調査期間】

令和3年1月21日(木)から2月1日(月)まで

【調査方法】

質問紙調査(無記名)

【配布数および回答率等】

(保護者アンケート)

配布数 21,550

回答数 20,123(内有効数 20,123)

回答率 93.4%

(児童・生徒アンケート)

配布数 18,470

回答数 17,407(内有効数 17,406)

回答率 94.2%

グラフの凡例: ■ 当てはまる ■ どちらかといえば当てはまる ■ どちらかといえば当てはまらない ■ 当てはまらない ■ 無回答

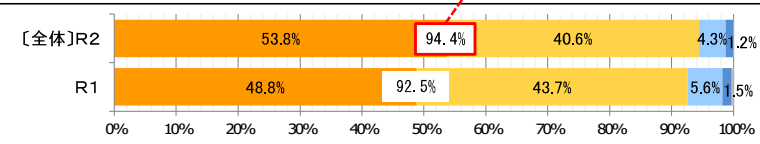
保護者アンケート

D 品川区の教育施策について

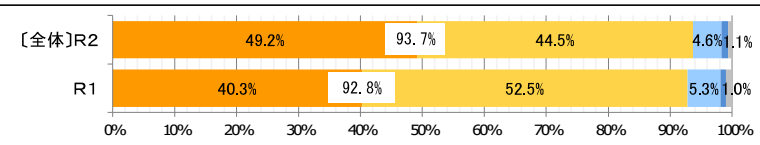
保護者による学校満足度

94.4%

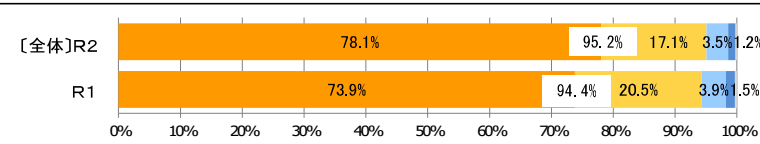
〔11〕 現在通っている学校に満足している。



〔8〕 独自教科である市民科は、良い学習だと思う。



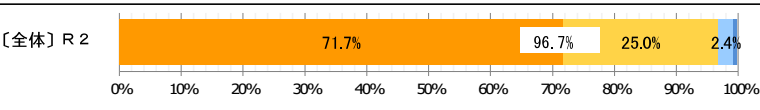
〔9〕 1年生からの英語学習は良いことだと思う。



保護者による学校満足度については、令和元年度に引き続き、全体では9割以上が肯定的な回答をしており、「当てはまる」の割合は令和元年度より5.0ポイント上がっている。
独自教科である市民科については、令和元年度に引き続き、全体では9割以上が肯定的な回答をしており、「当てはまる」の割合は令和元年度より8.9ポイント上がっている。
1年生からの英語学習については、令和元年度に引き続き、全体では9割以上が肯定的な回答をしており、「当てはまる」の割合は令和元年度より4.2ポイント上がっている。

C ICT教育について

〔7〕 お子様がコンピュータやタブレットなどのICT機器を日常的なツールとして活用し、情報化社会に適応するための能力を身に付けることは重要だと思う。

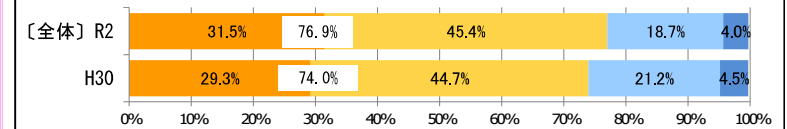


ICT機器を活用し、情報化社会に適応するための能力を身に付けることについて、重要だと思うという肯定的な回答をした家庭は、全体で95%を超えている。

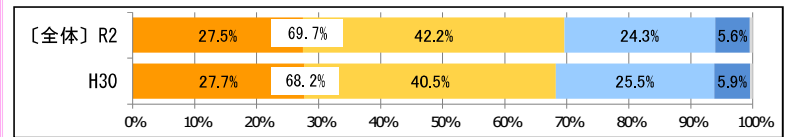
児童・生徒アンケート

A 学校や家での様子について

〔2〕 学級などの集団で活動するとき、自分たちで考え、行動できるように、他に働きかけることができる。

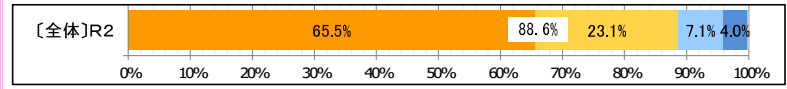


〔3〕 学校行事などの企画や運営に積極的に参加し、自分の考えを効果的に発信することができる。



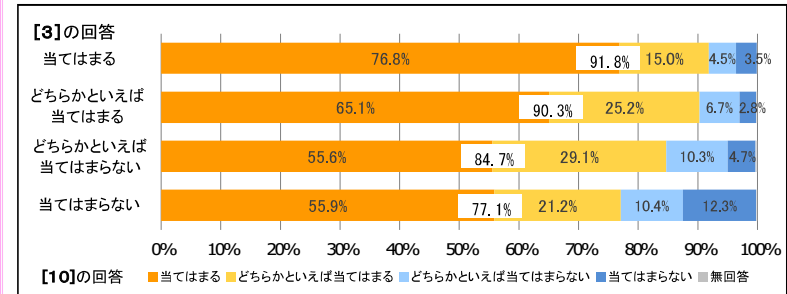
D コンピュータやタブレットなどの活用について

〔10〕 授業でもっとコンピュータやタブレットなどのICT機器を活用したいと思いますか。



授業でのコンピュータやタブレットなどの活用について、85%以上が肯定的な回答をしている。そのうち「当てはまる」は65.5%と半数を超えている。

〔3〕〔10〕 授業でのICT機器の活用への意欲と、行事の企画・運営への積極的な参加、自分の考えを発信することの関連



授業でもっとICT機器を活用したいと思うかを企画・表現(行事の企画・運営への積極的な参加等)別に見ると、授業でもっとICT機器を活用したいと思うという肯定的な回答は、企画・表現に「当てはまる」で91.8%、「どちらか」として「当てはまる」で90.3%と9割を超え、企画・表現に対して否定的な回答をした児童・生徒に比べ、高い傾向が見られた。

令和2年度保護者アンケートの結果

令和2年度保護者アンケートの概要

【目的】

品川区における教育施策の成果を検証し、より一層の充実を図る。

【対象者】

品川区立学校に通う全児童・生徒の保護者

【調査期間】

令和3年1月21日（木）から令和3年2月1日（月）まで

【調査方法】

質問紙調査（無記名）

【配布数および回答率等】

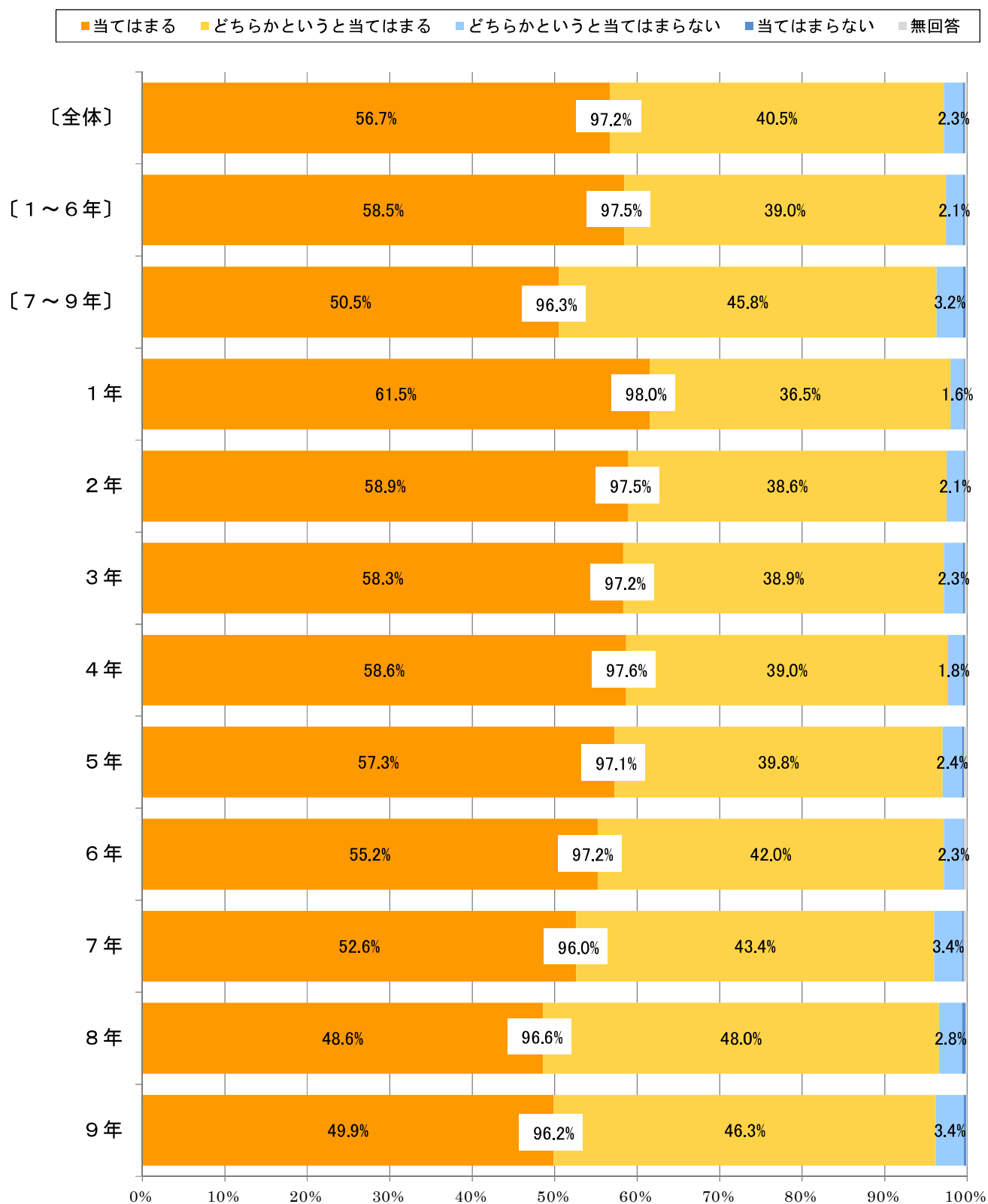
配布数 21,550 回答数 20,123（内、有効回答数 20,123） 回答率 93.4%

注記

1. 数値の表記のない項目は、1%未満である。
2. 回答比率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しているため、各回答における百分率の合計が100%にならない場合がある。
3. コメント欄内の『肯定的な回答』は、「当てはまる」と「どちらかという当てはまる」の合計である。

[A. 家庭における教育方針とお子さんの生活・学習について]

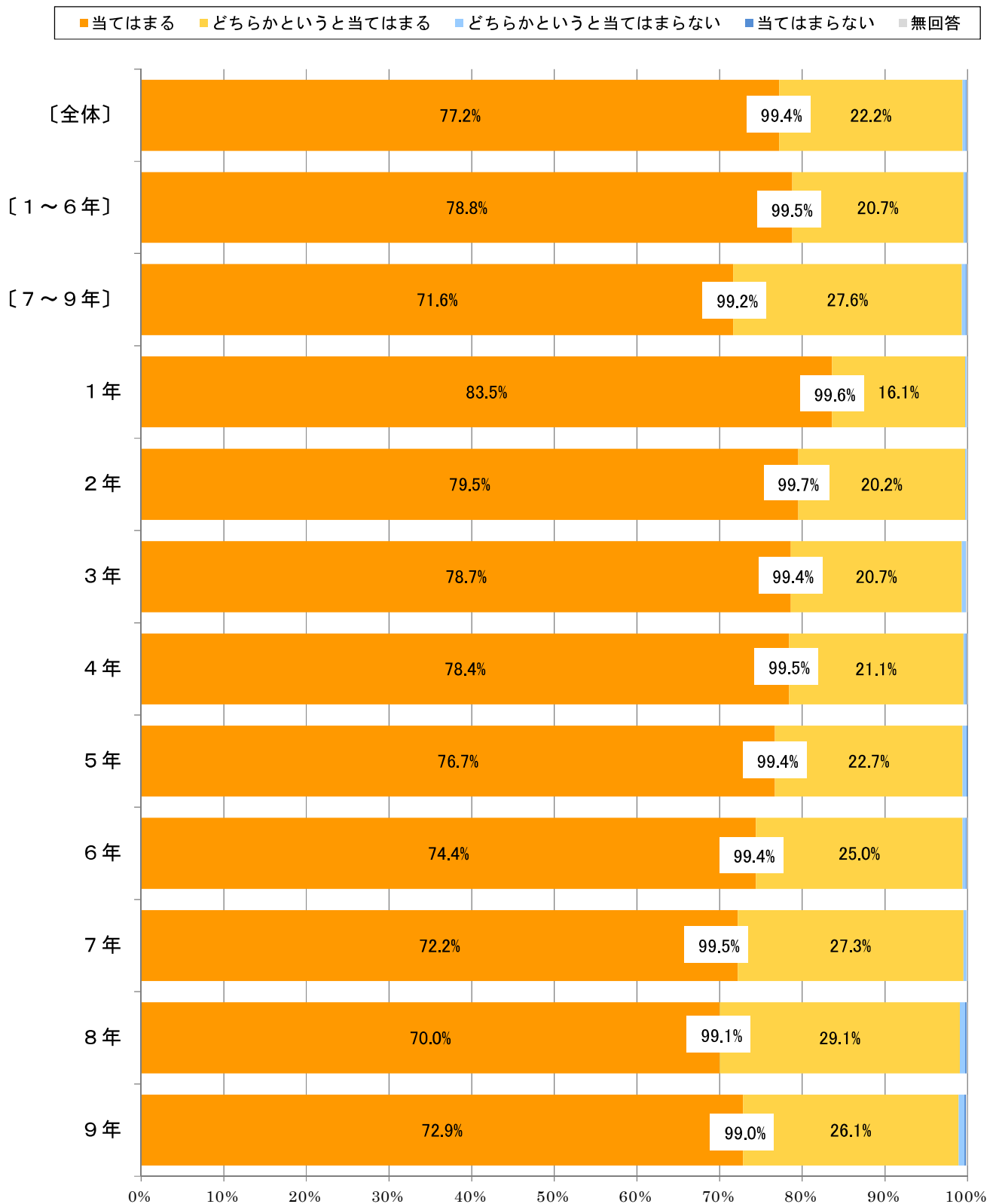
[1] 他者を尊重することの大切さを教えている。



他者を尊重することの大切さを教えているという『肯定的な回答』をした家庭は、全体で95%を超える。1～6年は97.5%、7～9年は96.3%である。

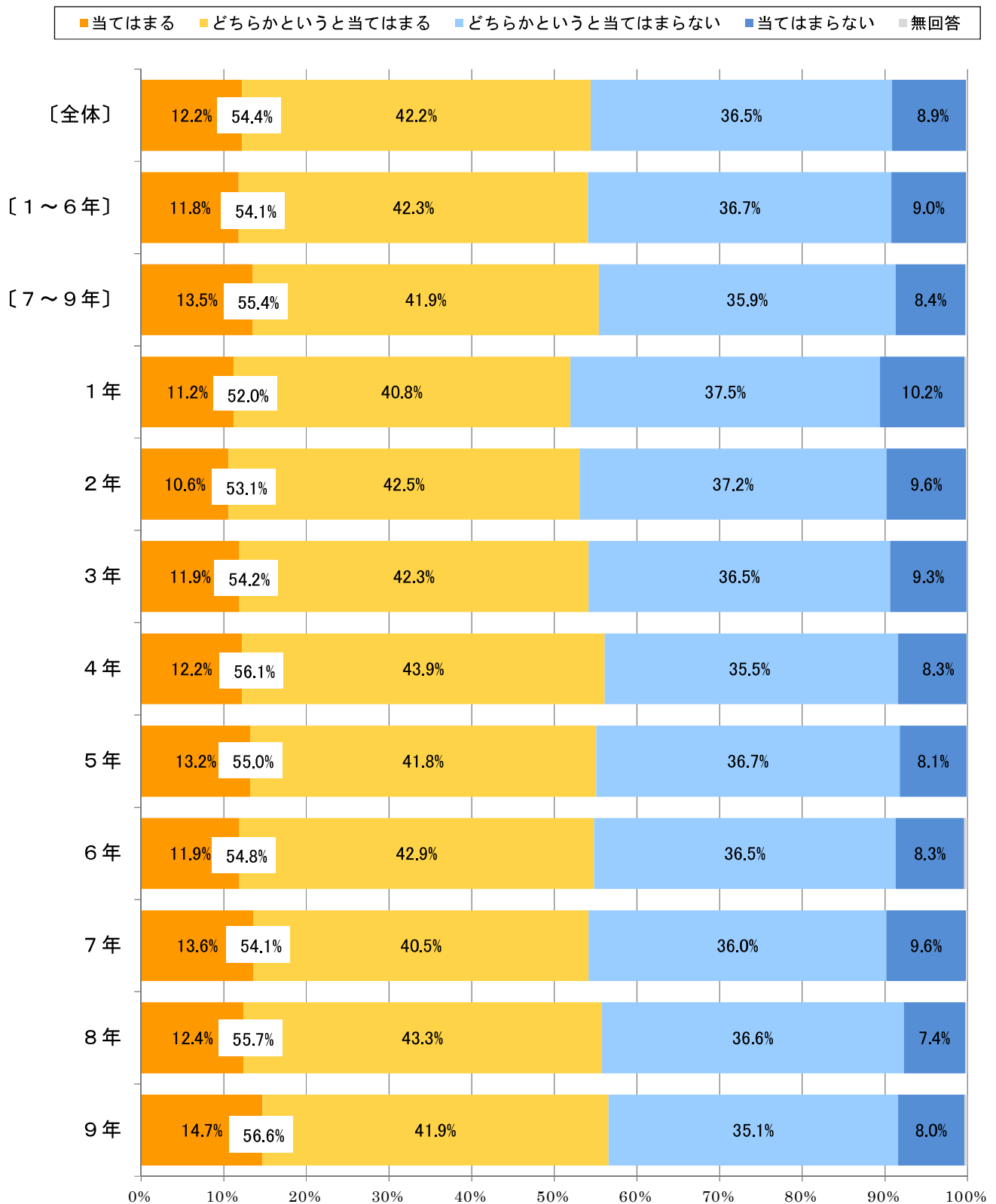
「当てはまる」は1～6年の58.5%に比べ、7～9年が50.5%と低い。

[2] 学校や公共のルール・マナーを守るようにさせている。



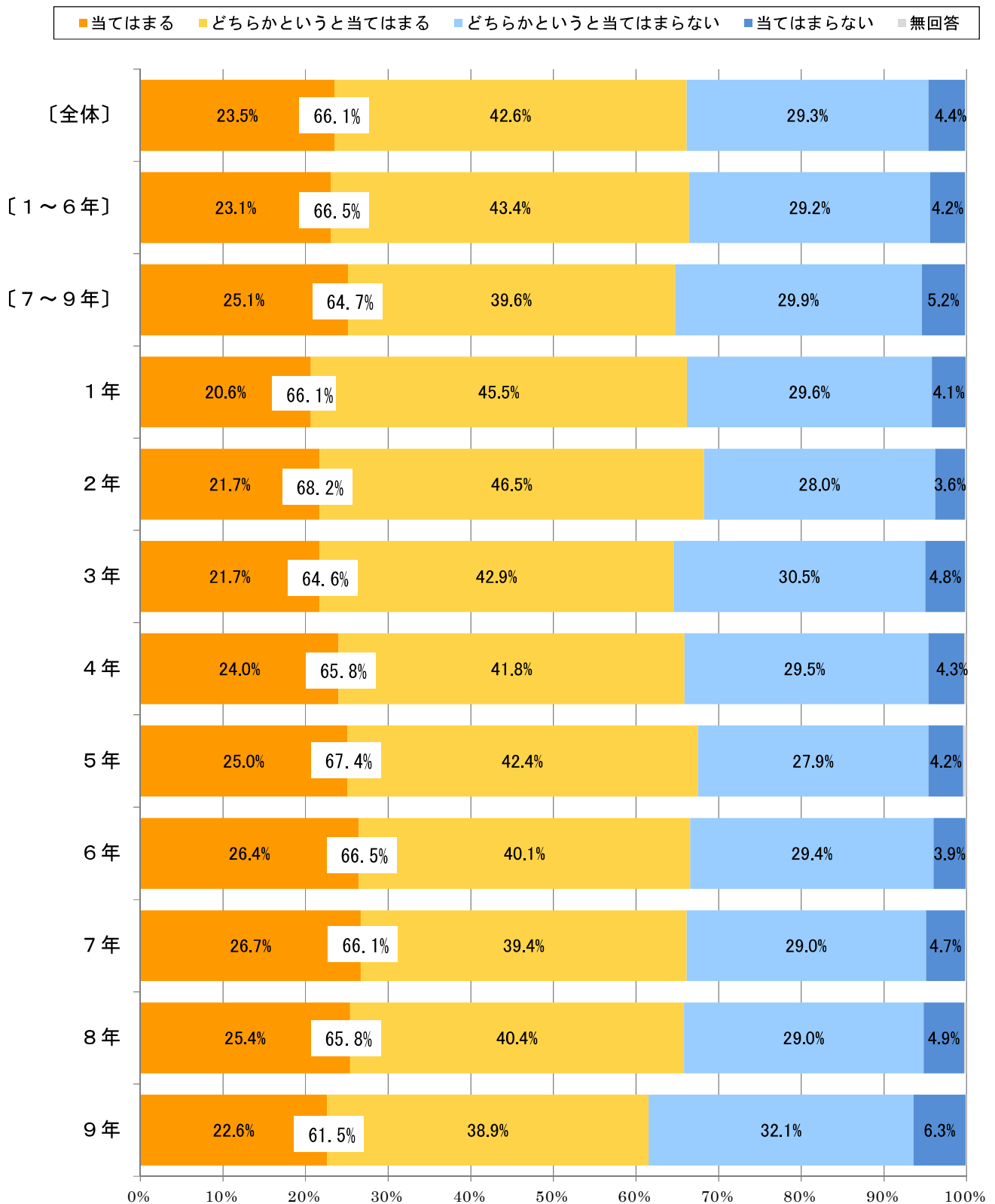
学校や公共のルール・マナーを守るようにさせているという『肯定的な回答』をした家庭は、全体で99.4%と全数に限りなく近い。1～6年は99.5%、7～9年は99.2%であり、全学年で99%を超える。1年から8年において「当てはまる」の割合は学年が上がるごとに低くなる傾向が見られた。

[3] 地域行事やボランティア活動に参加させるようにしている。



地域行事やボランティア活動に参加させるようにしているという『肯定的な回答』をした家庭は、全体で50%を超える。1～6年は54.1%、7～9年は55.4%であり、学年による差や特徴的な傾向は見られなかった。

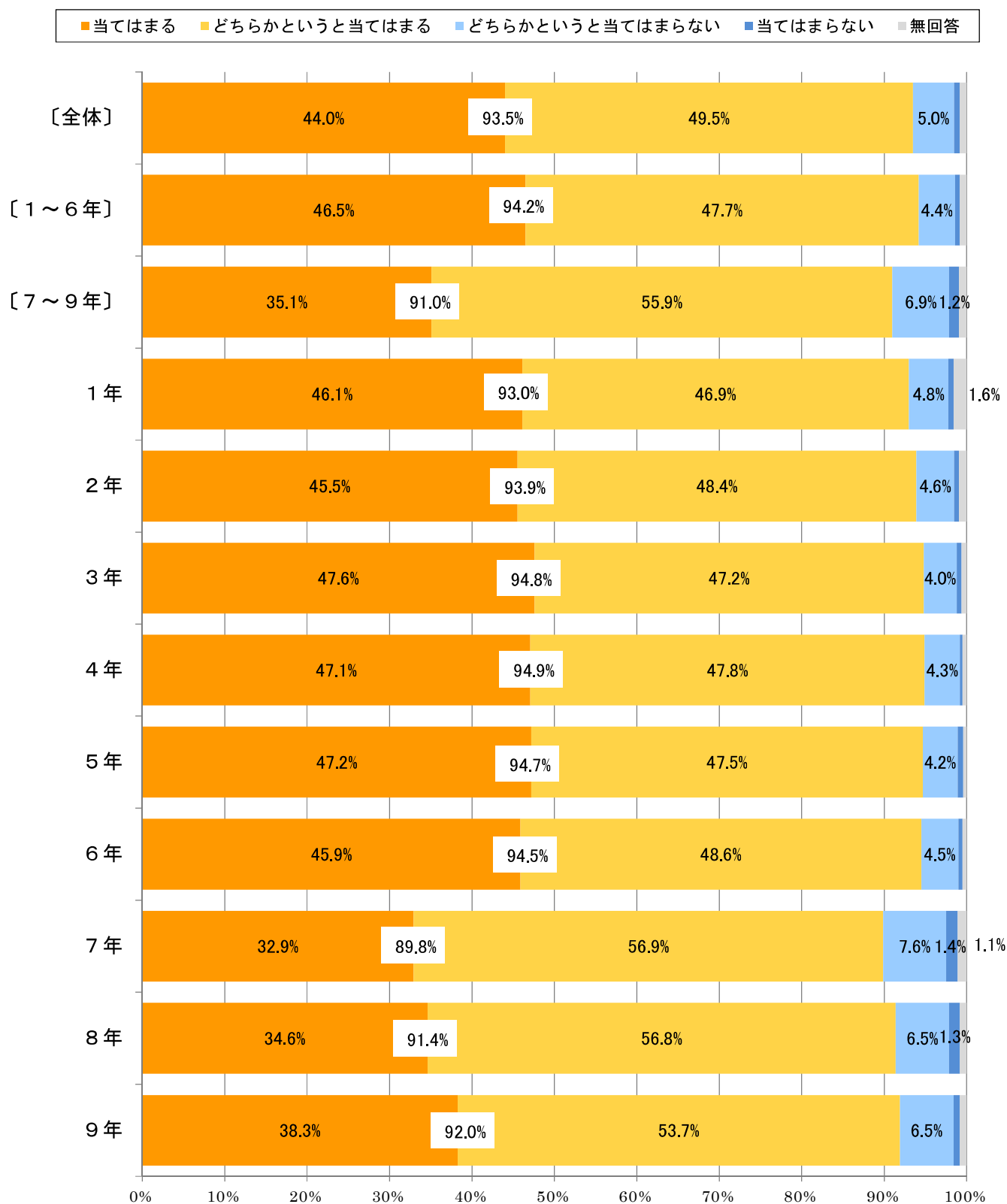
[4] 子どもに家事を分担している。



子どもに家事を分担しているという『肯定的な回答』をした家庭は、全体で65%を超える。1～6年は66.5%、7～9年は64.7%であり、学年による差や特徴的な傾向は見られなかった。

[B. お子さんが通っている学校と地域との連携・協働について]

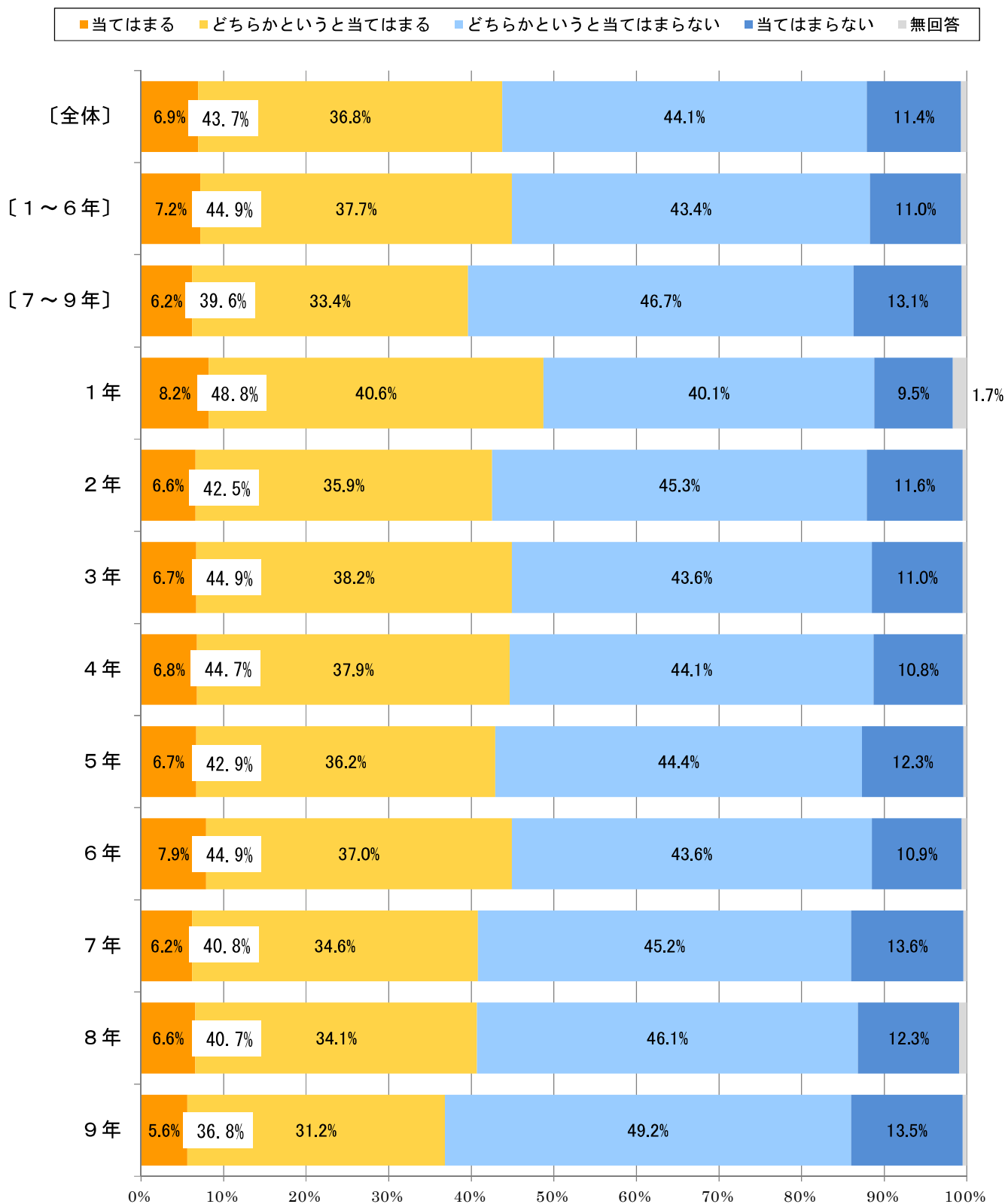
[5] お子さんの通っている学校は、地域と連携している。



お子さんが通っている学校と地域が連携しているという『肯定的な回答』をした家庭は、全体で90%を超える。1～6年は94.2%、7～9年は91.0%である。

「当てはまる」の割合は1～6年の46.5%に比べ、7～9年は35.1%と低い。

[6] お子さんが卒業しても、品川コミュニティ・スクールなどの教育活動に協力しようと思う。

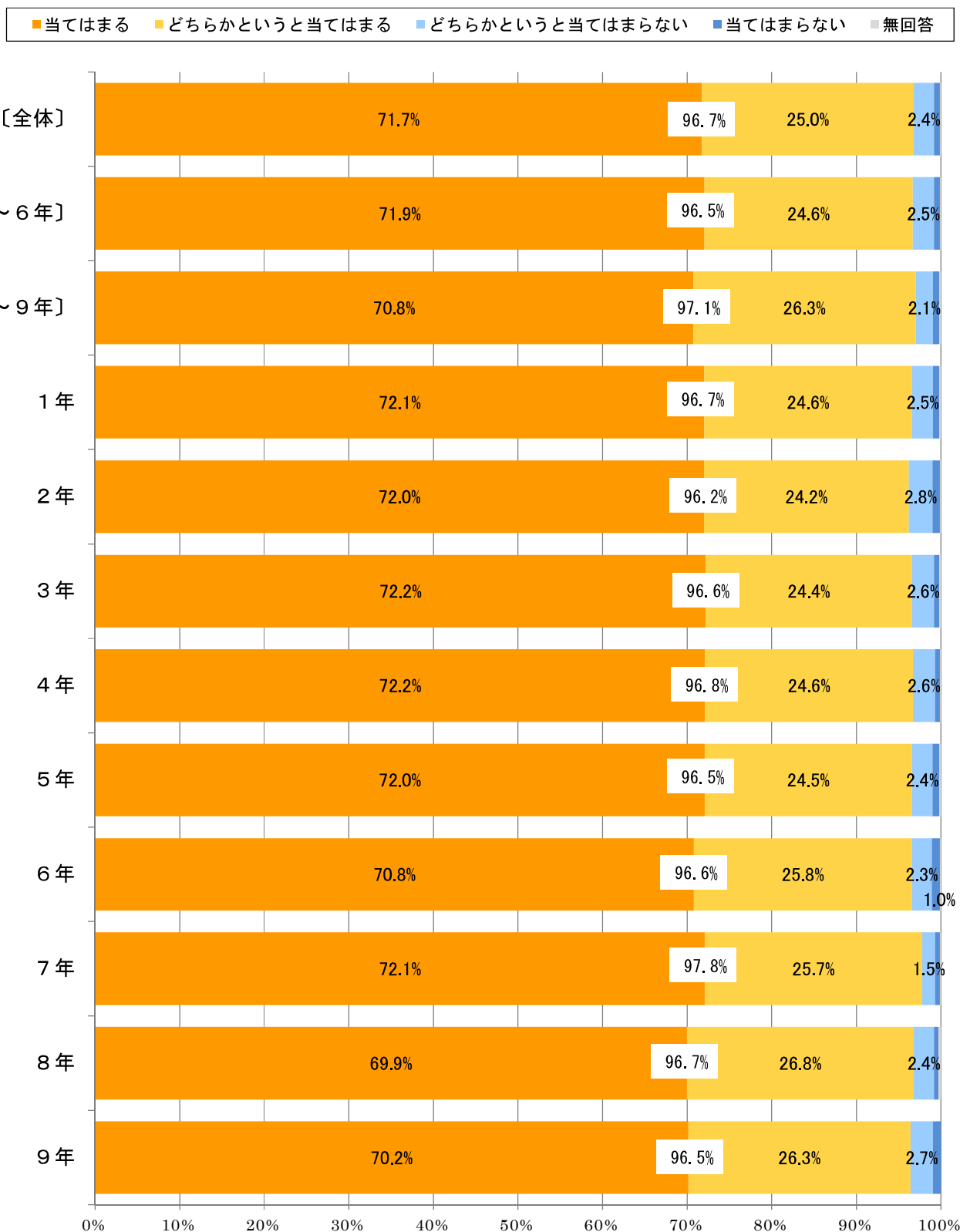


お子さんが卒業しても、教育活動に協力しようと思うという『肯定的な回答』をした家庭は、全体で43.7%と半数以下であった。1～6年は44.9%、7～9年は39.6%である。

「当てはまる」の割合は全学年で10%を下回り、学年による大きな差や特徴は見られなかった。

[C. ICT教育について]

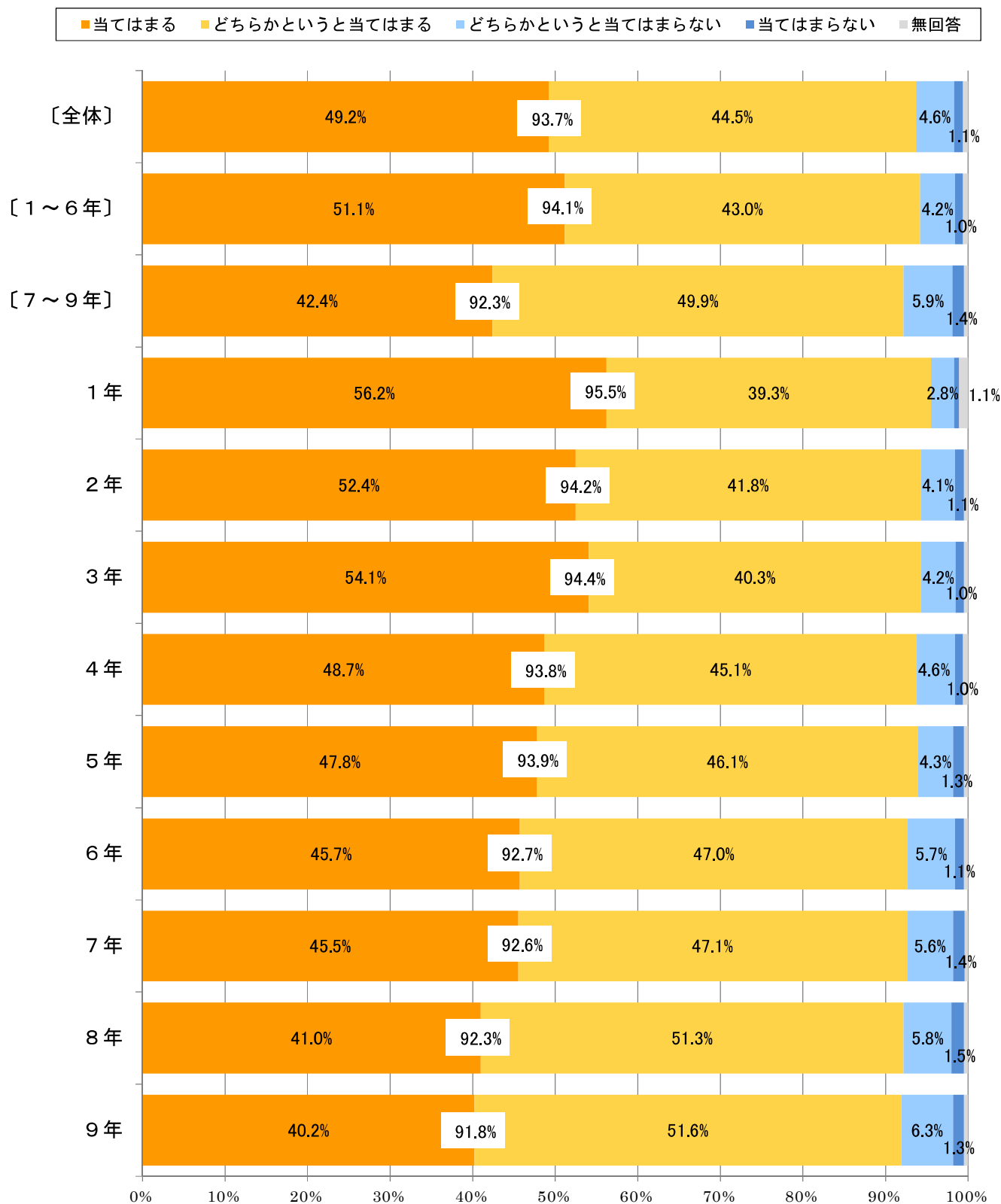
[7] お子様がコンピュータやタブレットなどのICT機器を日常的なツールとして活用し、情報化社会に
適応するための能力を身に付けることは重要だと思う。



ICT機器を活用し、情報化社会に適応するための能力を身に付けることは重要だと思うという『肯定的な回答』をした家庭は、全体で95%を超える。1～6年は96.5%、7～9年は97.1%であり、全学年で95%を超える。学年による大きな差や特徴は見られなかった。

[D. 品川区の教育施策について]

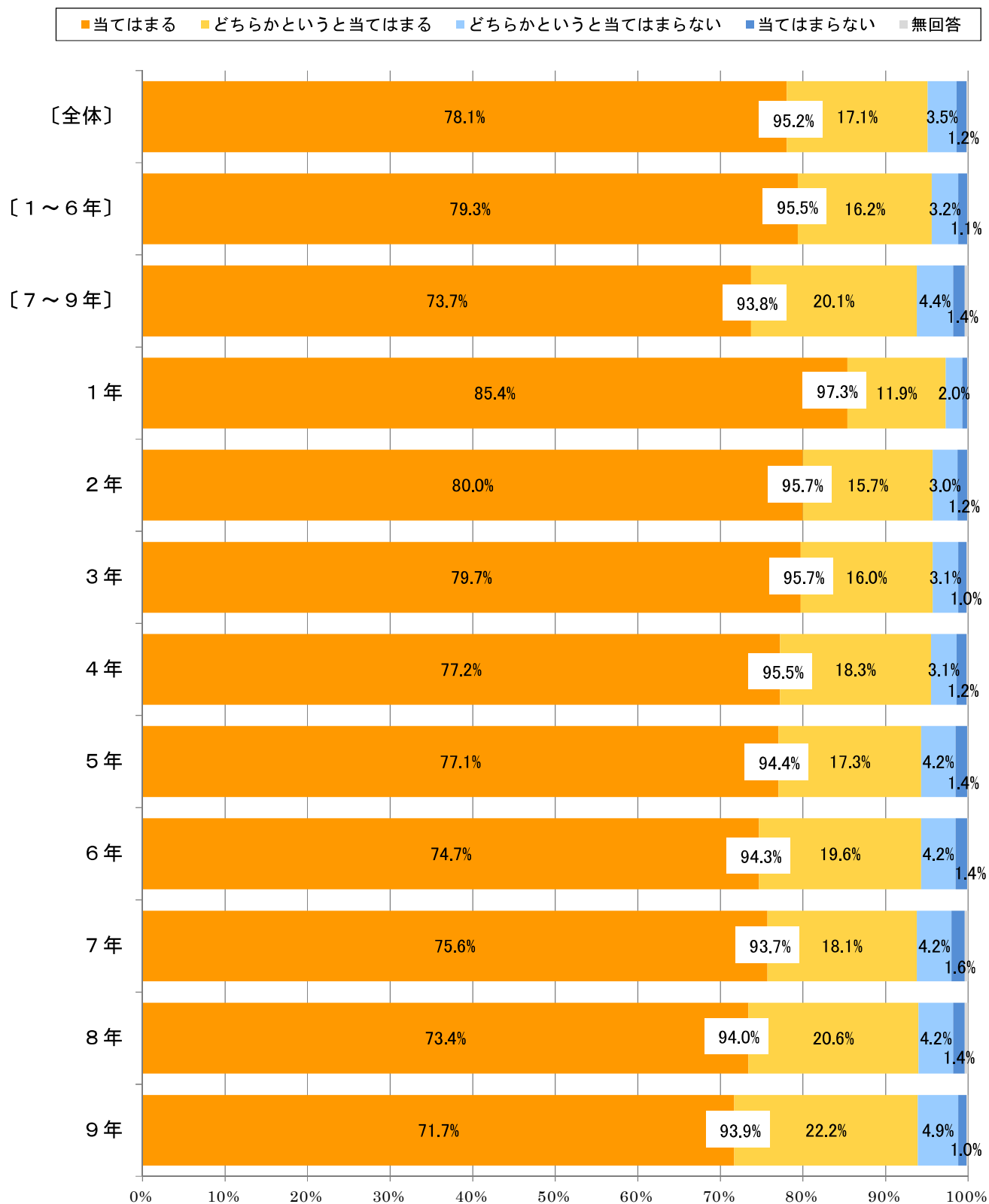
[8] 独自教科である市民科は、良い学習だと思う。



独自教科である市民科は、良い学習だと思うという『肯定的な回答』をした家庭は、全体で90%を超える。1～6年は94.1%、7～9年は92.3%である。

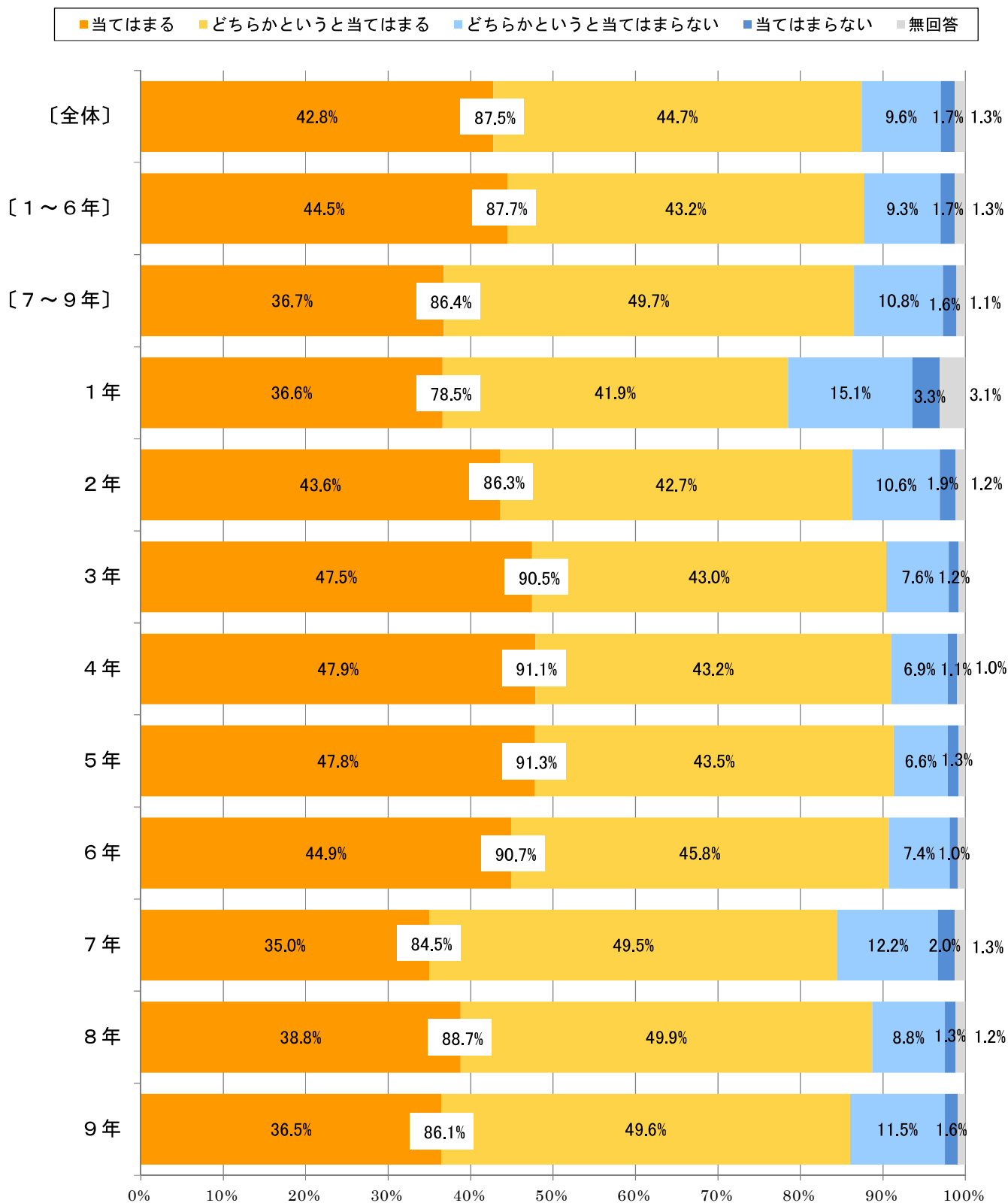
「当てはまる」の割合は1～6年の51.1%に比べ、7～9年は42.4%と低い。

[9] 1年生からの英語学習は良いことだと思う。



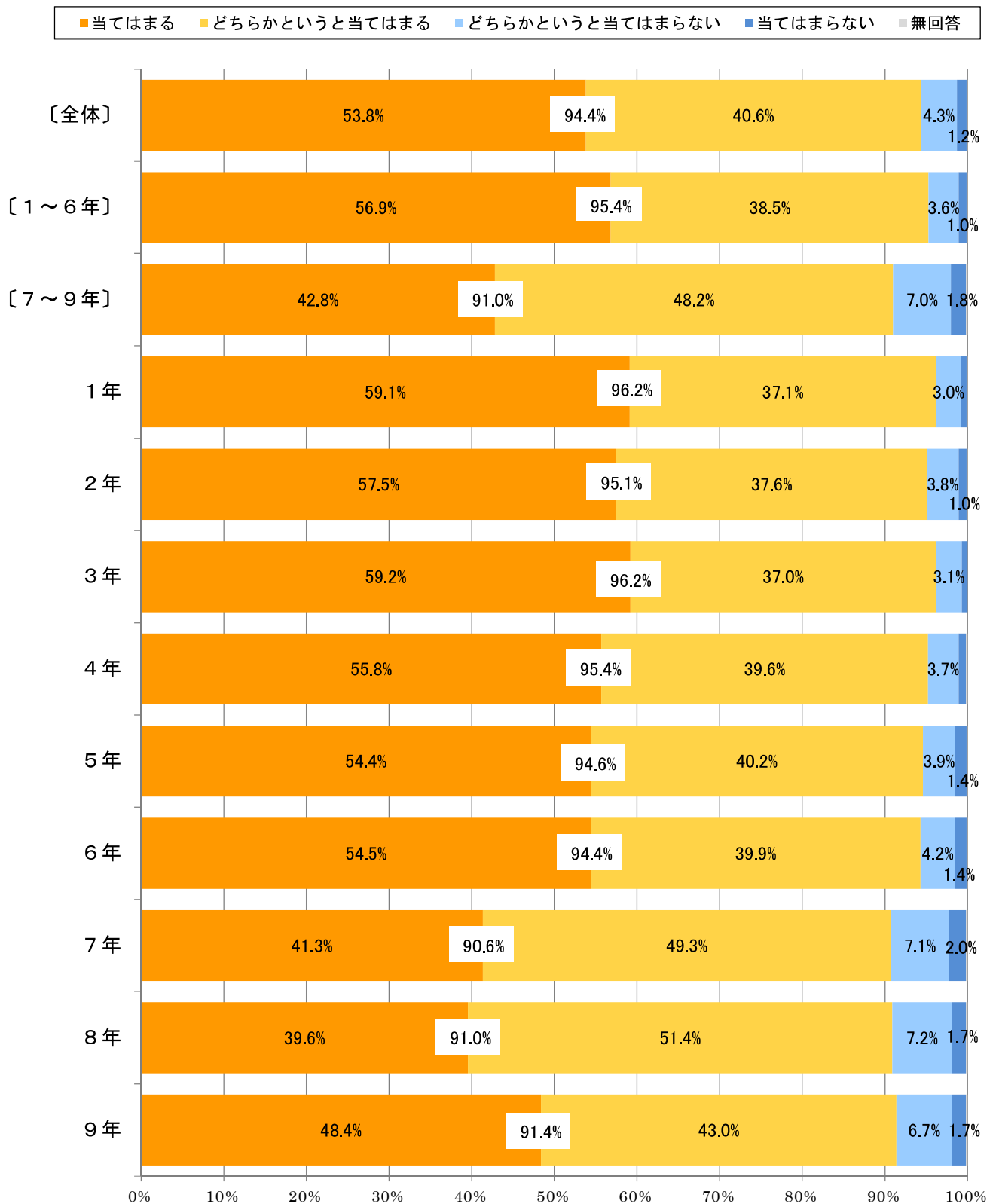
1年生からの英語学習は良いことだと思うという『肯定的な回答』をした家庭は、全体で95%を超える。1～6年は95.5%、7～9年は93.8%である。
「当てはまる」の割合は1年の85.4%が最も高く、全学年で70%を超える。

[10] お子さんの通っている学校は、オリンピック・パラリンピック教育を推進している。



子どもが通っている学校は、オリンピック・パラリンピック教育を推進しているという『肯定的な回答』をした家庭は、全体で85%を超える。1～6年は87.7%、7～9年は86.4%である。
「当てはまる」の割合は1～6年の44.5%に比べ、7～9年は36.7%と低い。

[11] 現在通っている学校に満足している。



現在通っている学校に満足しているという『肯定的な回答』をした家庭は、全体で90%を超える。1～6年は95.4%、7～9年は91.0%である。
「当てはまる」の割合は1～6年の56.9%に比べ、7～9年は42.8%と低い。

令和2年度児童・生徒アンケートの結果

令和2年度児童・生徒アンケートの概要

【目的】

品川区における教育施策の成果を検証し、より一層の充実を図る。

【対象者】

品川区立学校に通う2年生以上の全児童・生徒

【調査期間】

令和3年1月21日（木）から令和3年2月1日（月）まで

【調査方法】

質問紙調査（無記名）

【配布数および回答率等】

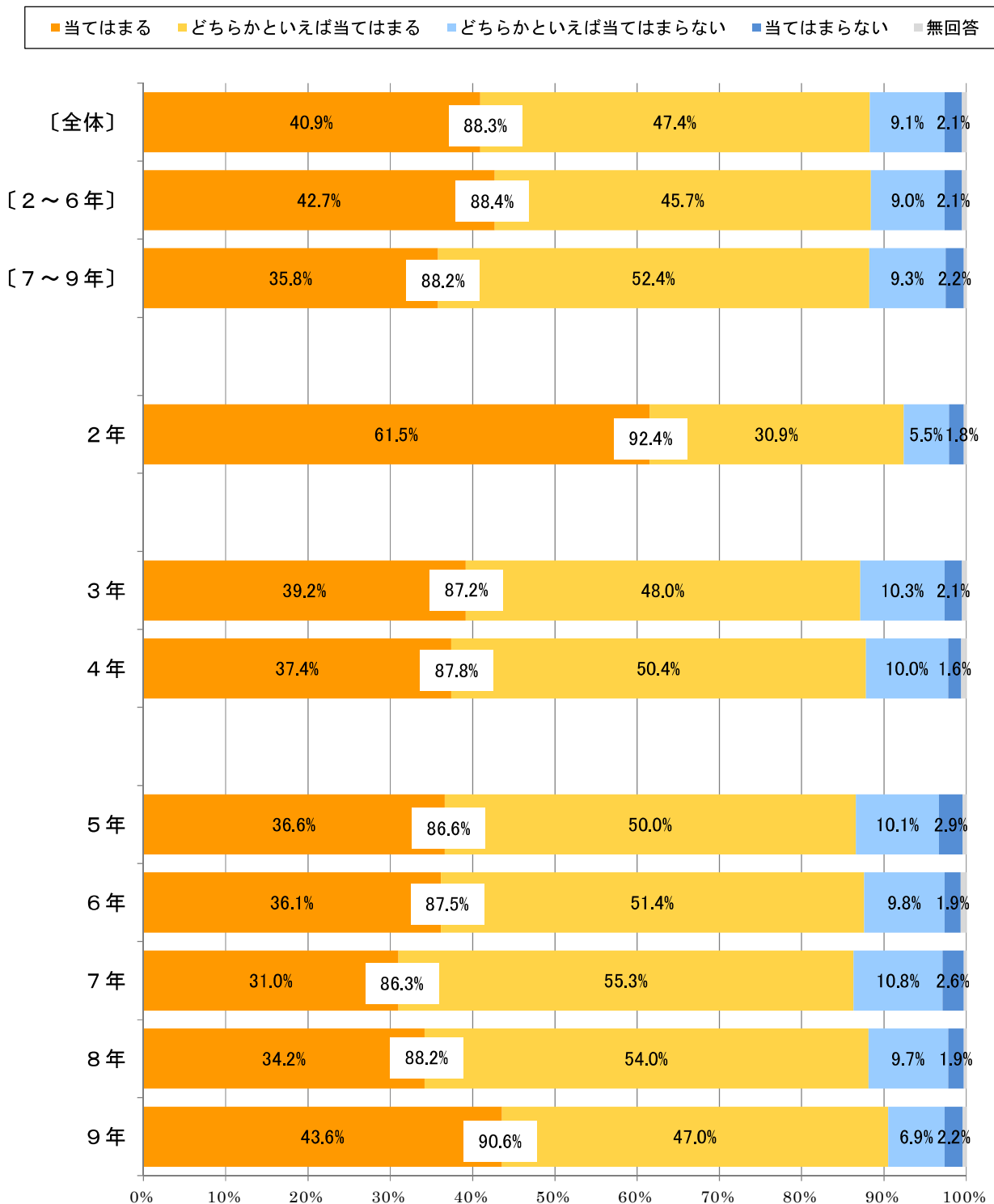
配布数 18,470 回答数 17,407（内、有効回答数 17,406） 回答率 94.2%

注 記

1. 数値の表記のない項目は、1%未満である。
2. 回答比率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しているため、各回答における百分率の合計が100%にならない場合がある。
3. コメント欄内の『肯定的な回答』は、「当てはまる」と「どちらかという当てはまる」、「とても興味がある」と「興味がある」の合計である。

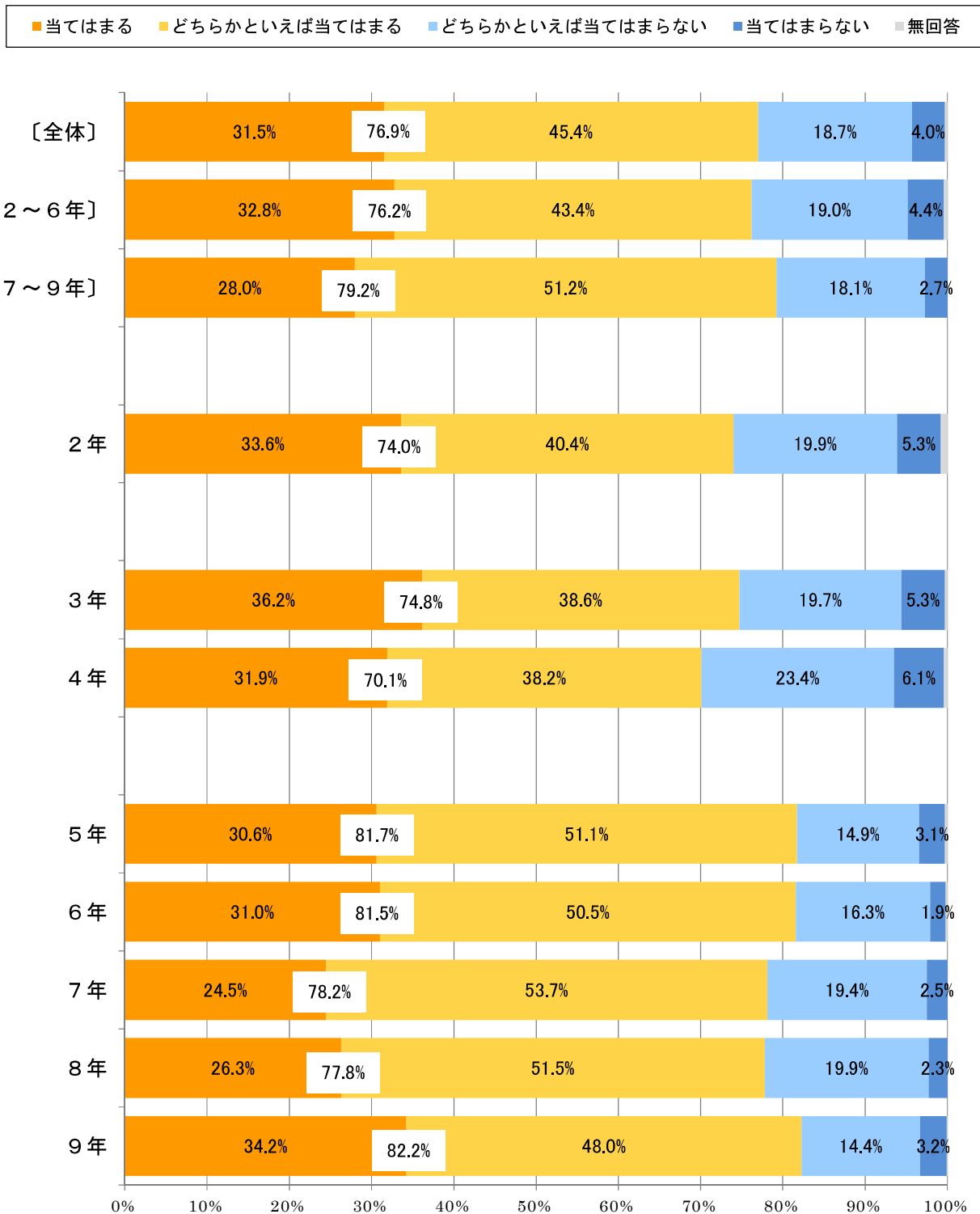
[A. 学校や家での様子について]

- [1] (2年) 係の仕事をしっかりできる。
 (3・4年) 学級の目標の達成に向け、自分のできることを行うことができる。
 (5～9年) 自分が所属する集団の目標の達成に向け、自分の役割や責任を考えて行動できる。



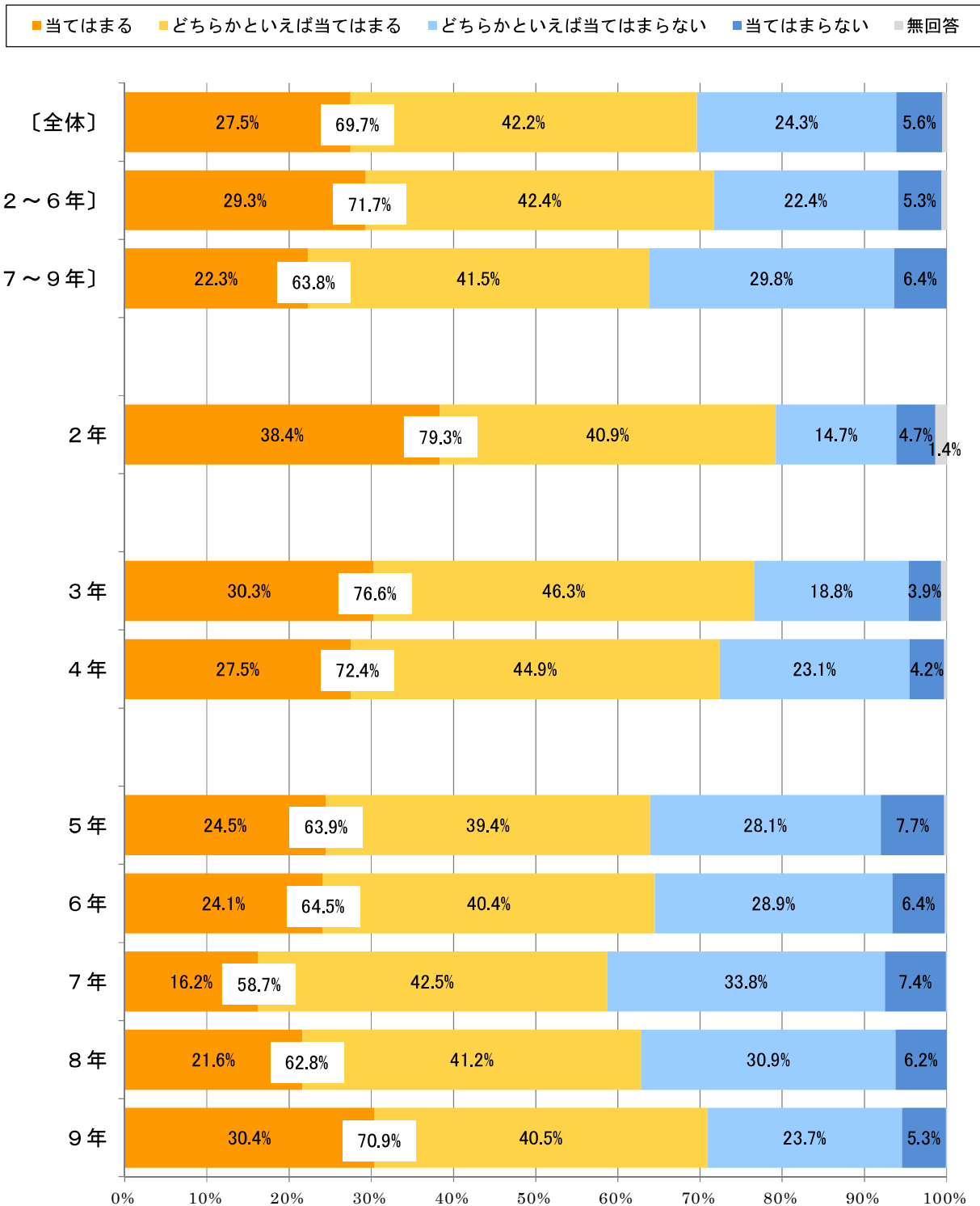
『肯定的な回答』をした児童・生徒は、全体で85%を超える。2～6年は88.4%、7～9年は88.2%である。
 「当てはまる」の割合は9年で43.6%と、他の学年に比べて高い。

- [2] (2年) 良いクラスをつくるため、話し合いで意見を言える。
 (3・4年) 学級などの集団において、自分の考えや意見を出すことができる。
 (5～9年) 学級などの集団で活動するとき、自分たちで考え、行動できるように、他に働きかけることができる。



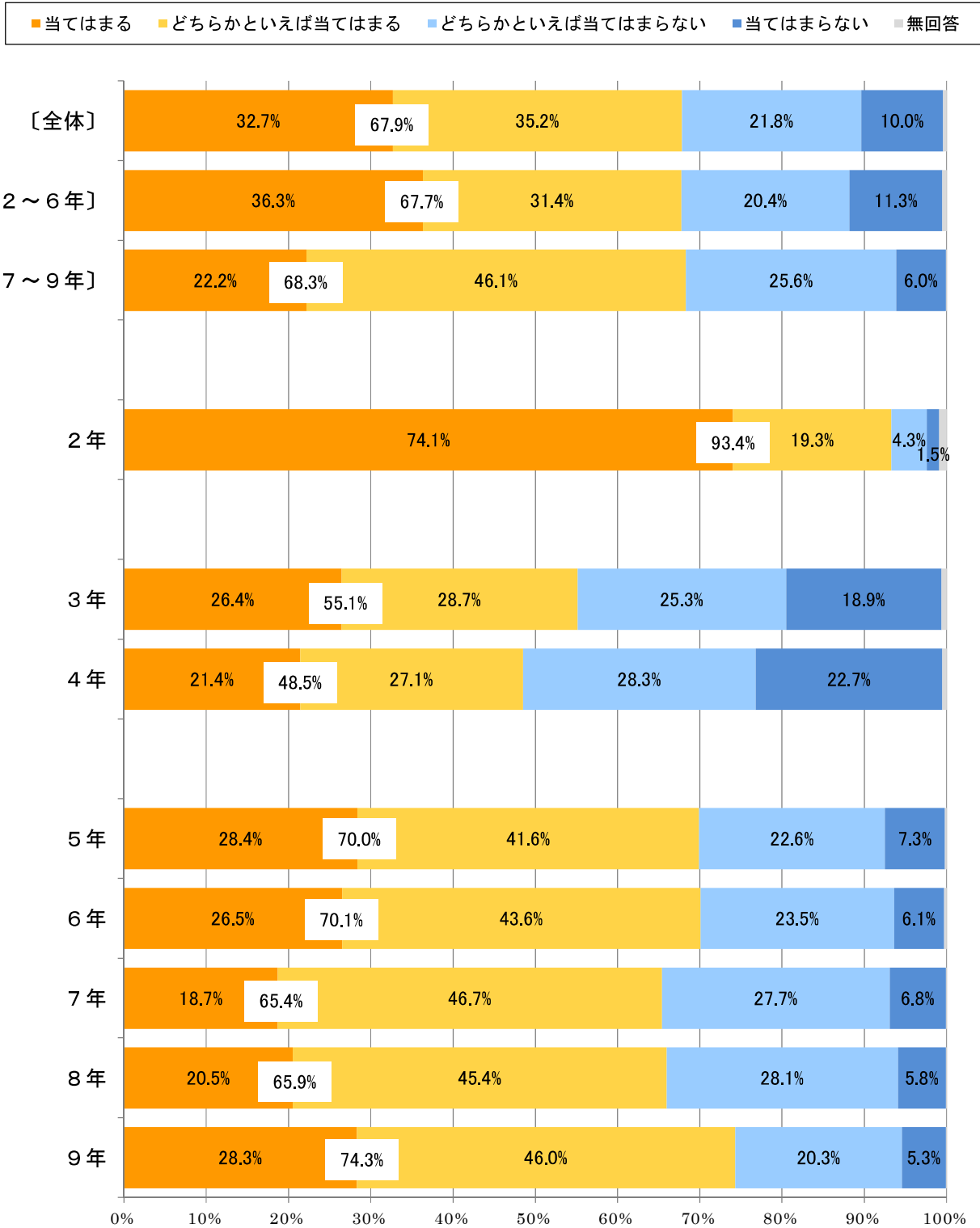
『肯定的な回答』をした児童・生徒は、全体で75%を超える。2～6年は76.2%、7～9年は79.2%である。
 「当てはまる」の割合は7年、8年で20%台と、他の学年に比べて低い。

- [3] (2年) クラスや学校の発表会で工夫して発表している。
 (3・4年) 自分の思いや考えを分かりやすく伝えるために工夫することができる。
 (5～9年) 学校行事などの企画や運営に積極的に参加し、自分の考えを効果的に発信することができる。



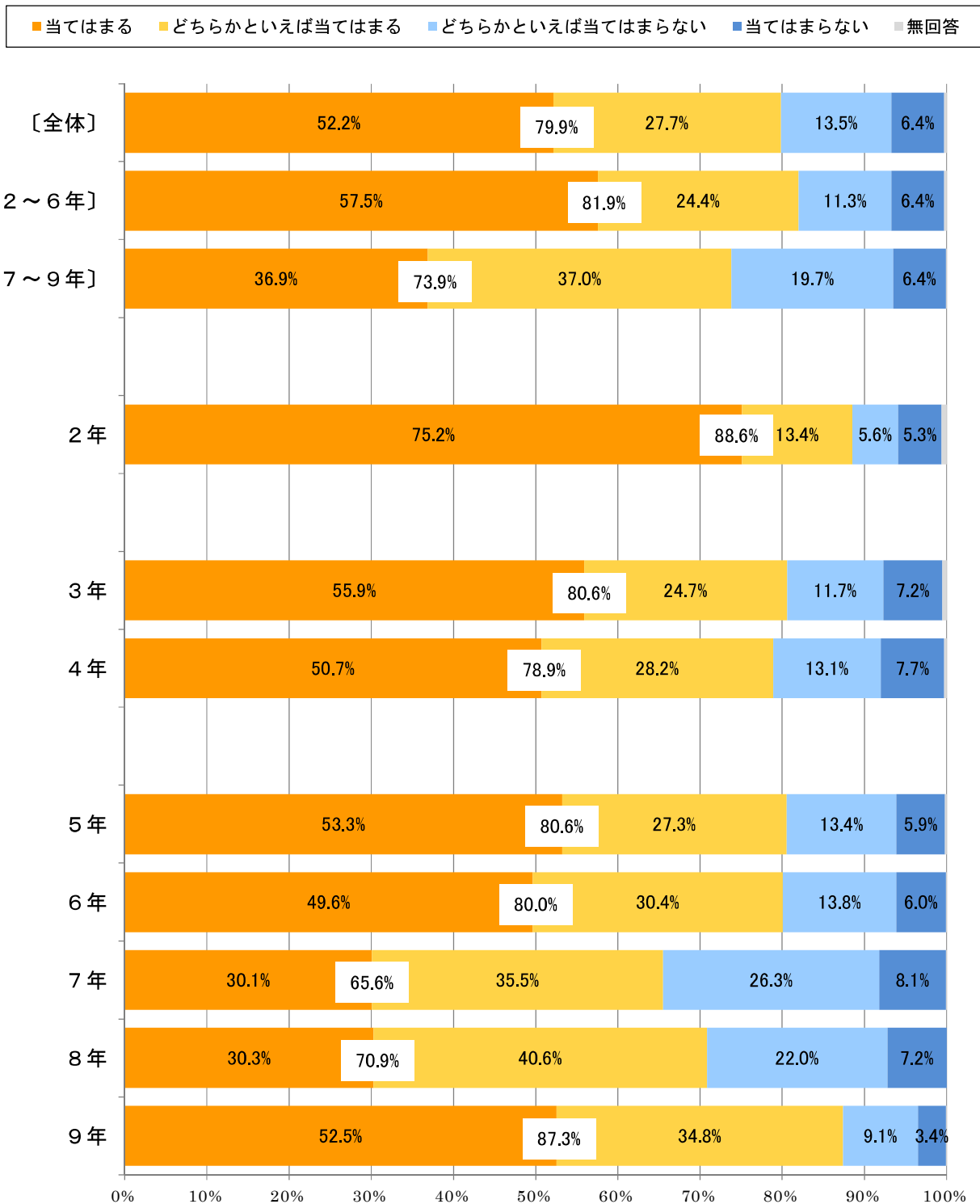
『肯定的な回答』をした児童・生徒は、全体で約70%である。2～6年は71.7%、7～9年は63.8%である。
 「当てはまる」の割合は7年の16.2%が最も低く、7年から9年では学年が上がるに高くなる傾向が見られた。

- [4] (2年) 季節の行事や学校の行事に参加することは楽しいと思う。
 (3・4年) 地域の行事や伝統文化を体験したり知ったりする活動に参加している。
 (5～9年) 学校や地域、我が国や諸外国の伝統文化について、理解を深めようとする事ができる。



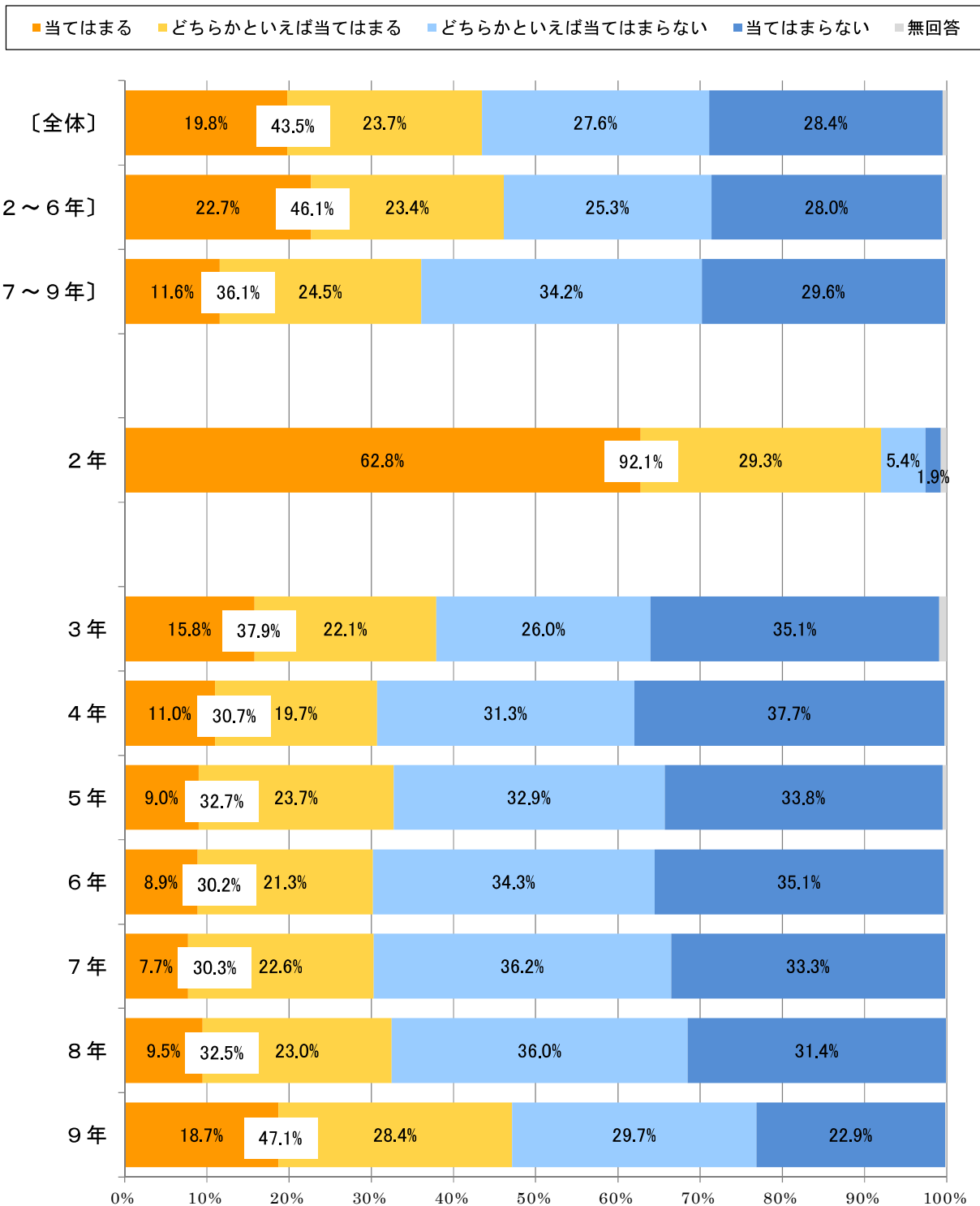
『肯定的な回答』をした児童・生徒は、全体で65%を超える。2～6年は67.7%、7～9年は68.3%である。4年で48.5%と半数以下と、他の学年に比べて低い。
 「当てはまる」の割合は、7年で18.7%、8年で20.5%と、他の学年に比べて低い。

- [5] (2年) 将来なりたい仕事ややりたいことがある。
 (3・4年) 将来なりたい職業ややりたいことがある、そのために努力していることがある。
 (5～9年) 将来なりたい職業ややりたいこと、進学したい学校等があり、そのために努力してい



『肯定的な回答』をした児童・生徒は、約80%である。2～6年は81.9%、7～9年は73.9%である。「当てはまる」の割合は、7年、8年で約30%と、他の学年に比べて低い。

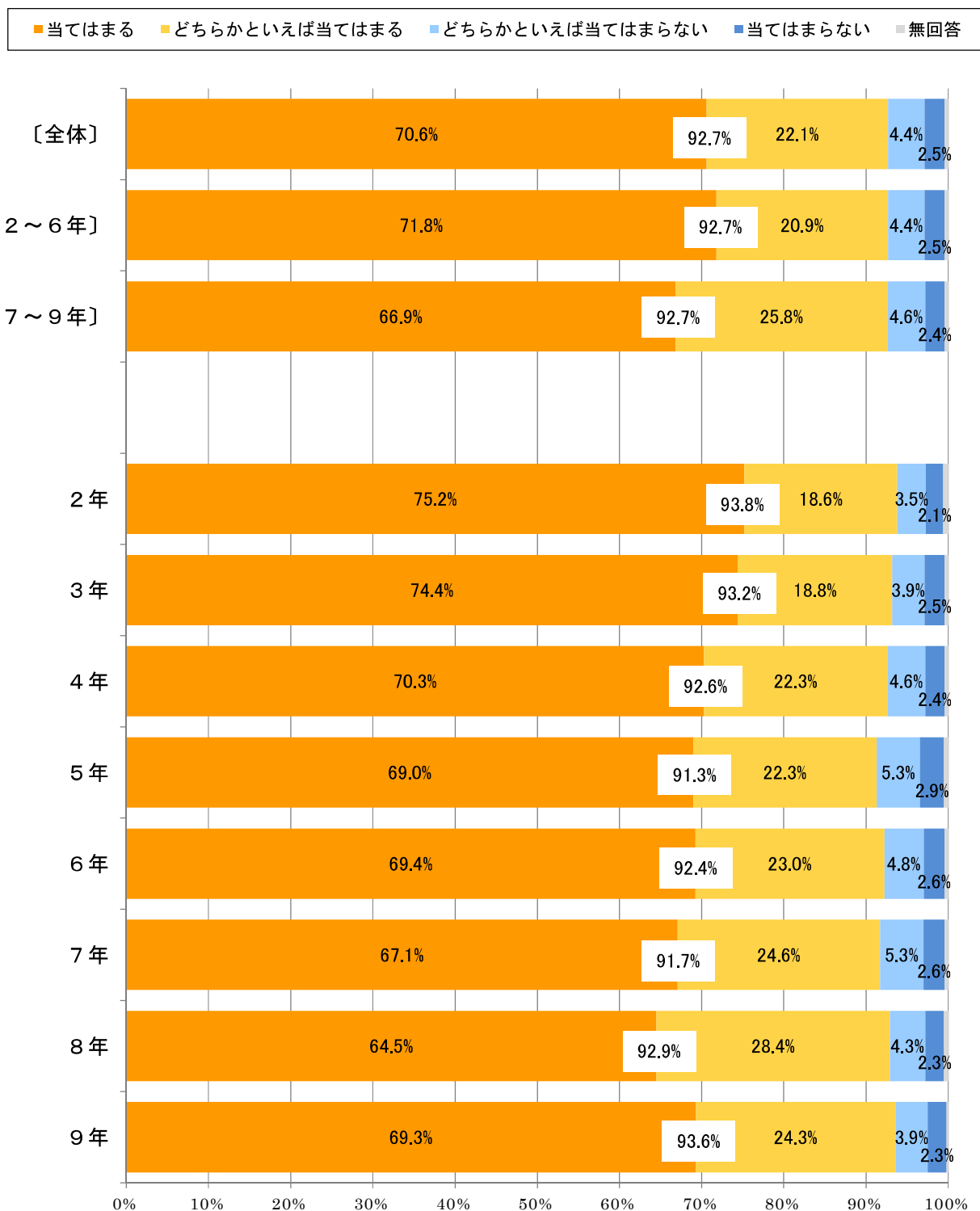
[6] (2年) みんなのために働くのは楽しいと思う。
 (3~9年) ボランティア活動などに参加している。



『肯定的な回答』をした児童・生徒は、全体で43.5%と半数以下である。2~6年は46.1%、7~9年は36.1%である。9年で47.1%と、他の学年に比べて高い。

[B. 英語の学習について]

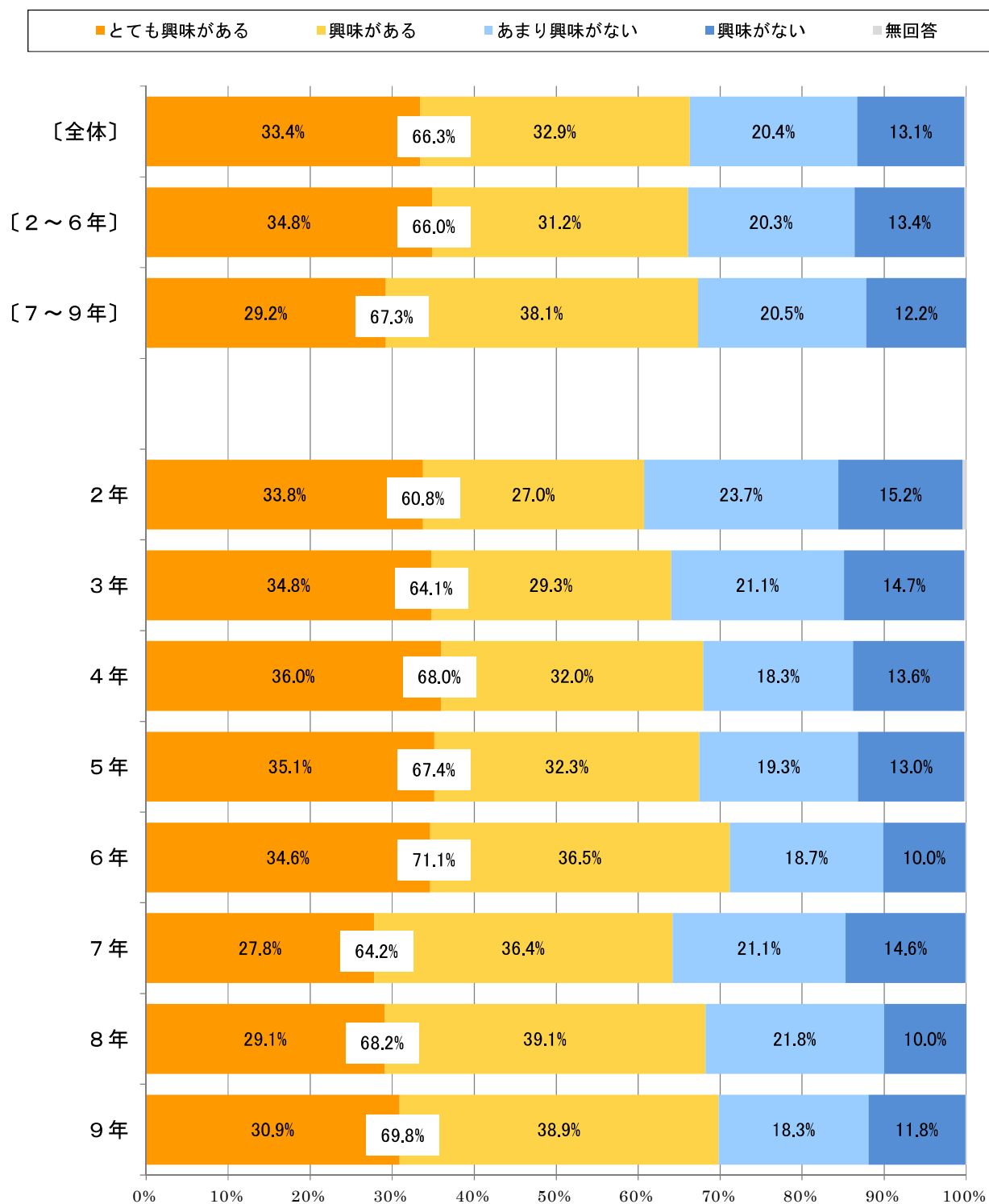
[7] 英語の学習は大切だと思う。



『肯定的な回答』をした児童・生徒は、全体で90%を超える。2～6年、7～9年ともに92.7%と高い割合である。
「当てはまる」の割合は、全ての学年で60%を超える。

[C. オリンピック・パラリンピックについて]

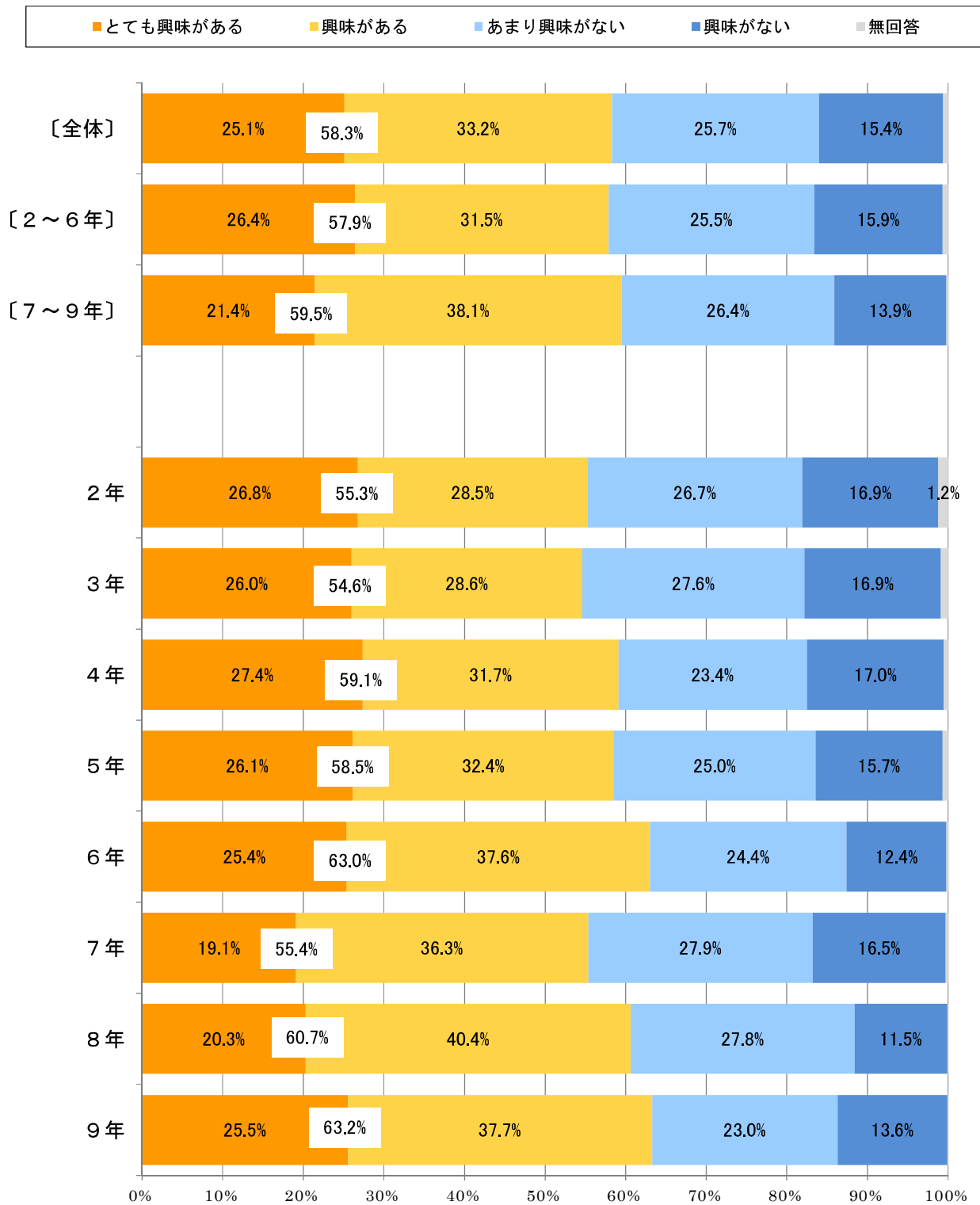
[8] オリンピックに興味がありますか。



『肯定的な回答』をした児童・生徒は、全体で65%を超える。2～6年は66.0%、7～9年は67.3%である。

「とても興味がある」の割合は2～6年の34.8%に比べ、7～9年は29.2%とやや低い。

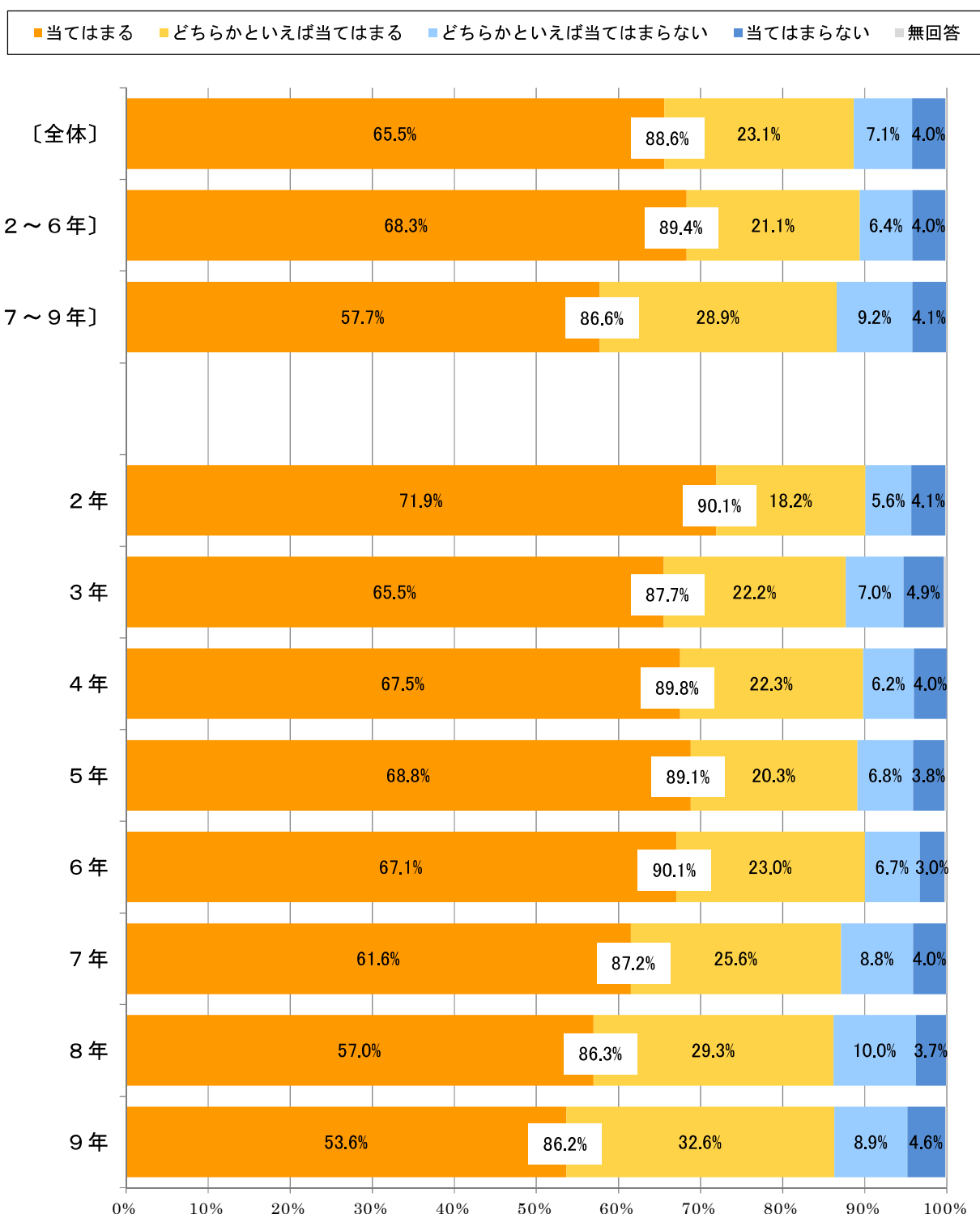
[9] パラリンピックに興味がありますか。



『肯定的な回答』をした児童・生徒は、全体で55%を超える。2～6年は57.9%、7～9年は59.5%である。
 「とても興味がある」の割合は2～6年の26.4%と比べ、7～9年は21.4%とやや低く、7年が19.1%で最も低い。

[D. コンピュータやタブレットなどの活用について]

[10] 授業でもっとコンピュータやタブレットなどのICT機器を活用したいと思いますか。



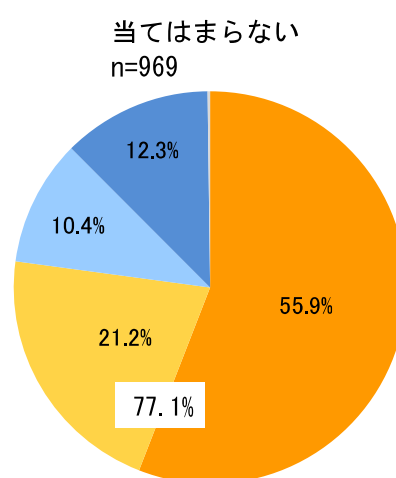
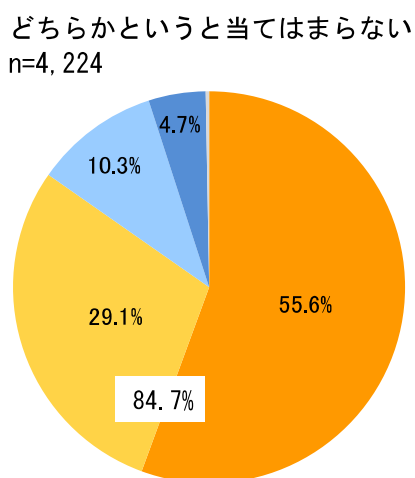
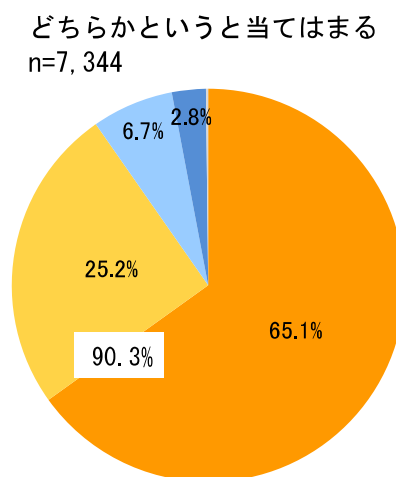
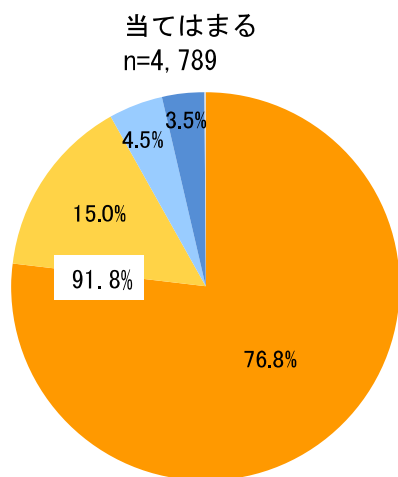
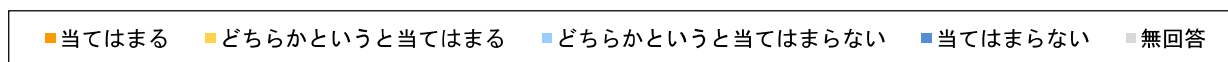
『肯定的な回答』をした児童・生徒は、全体で85%を超える。2～6年で89.4%、7～9年で86.6%である。

「当てはまる」の割合は2～6年の68.3%に比べ、7年～9年は57.7%と低い。

[D. コンピュータやタブレットなどの活用について]

[10] 授業でもっとコンピュータやタブレットなどのICT機器を活用したいと思いますか。

[全体] 企画・表現別（設問3とのクロス集計）



		設問10											
		当てはまる		どちらかという当てはまる		どちらかという当てはまらない		当てはまらない		無回答		計	
設問3	当てはまる	3,679	76.8%	720	15.0%	214	4.5%	169	3.5%	7	0.1%	4,789	100.0%
	どちらかという当てはまる	4,784	65.1%	1,853	25.2%	490	6.7%	202	2.8%	15	0.2%	7,344	100.0%
	どちらかという当てはまらない	2,349	55.6%	1,228	29.1%	436	10.3%	200	4.7%	11	0.3%	4,224	100.0%
	当てはまらない	542	55.9%	205	21.2%	101	10.4%	119	12.3%	2	0.2%	969	100.0%

授業でもっとICT機器を活用したいと思うかを企画・表現（行事の企画・運営への積極的な参加、発表での工夫等）別にみると、授業でもっとICT機器を活用したいと思うという『肯定的な回答』は、企画・表現に[当てはまる]で91.8%、[どちらかという当てはまる]で90.3%と9割を超え、企画・表現に対して否定的な回答をした児童・生徒に比べ、高い傾向が見られた。